

[問 1] (応用数学)

3 次実ベクトル

$$a_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}, a_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, a_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

について、以下の問いに答えよ。

- (1) ベクトル a_1, a_2, a_3 は一次独立であることを示せ。
- (2) 2つのベクトル v_1, v_2 に対して、 (v_1, v_2) は、 v_1 と v_2 の内積を表す。また、ベクトル v に対して、 v のノルム $\|v\|$ を、 $\|v\| = \sqrt{(v, v)}$ によって定義する。
- 3 次実ベクトル u_1, u_2, u_3 を、

$$u_1 = \frac{1}{\|b_1\|} b_1, u_2 = \frac{1}{\|b_2\|} b_2, u_3 = \frac{1}{\|b_3\|} b_3$$

によって定義する。ただし、 b_1, b_2, b_3 は、

$$b_1 = a_1, b_2 = a_2 - \frac{(b_1, a_2)}{\|b_1\|^2} b_1, b_3 = a_3 - \frac{(b_1, a_3)}{\|b_1\|^2} b_1 - \frac{(b_2, a_3)}{\|b_2\|^2} b_2$$

によって定義される 3 次実ベクトルである。

このとき、ベクトル u_1, u_2, u_3 を求めることにより、 $(u_1, u_2) = (u_2, u_3) = (u_3, u_1) = 0$ と $\|u_1\| = \|u_2\| = \|u_3\| = 1$ が成り立つことを示せ。

- (3) (2) で求めた u_1, u_2, u_3 を用いて、 3×3 実行列 P を

$$P = \begin{pmatrix} u_1 & u_2 & u_3 \end{pmatrix}$$

によって定義する。このとき、 $P^T P$ を求めよ。ただし、 P^T は P の転置行列である。

[問 2] (応用数学)

実関数 $f(x) = \frac{\sin x}{x}$ は $f(0) = \lim_{x \rightarrow 0} f(x)$ と定義したとき、 $f(0) = 1$ を満たす。

(1) θ を任意の実数として、定積分 $u_1(\theta) = \frac{1}{2} \int_{-1}^1 \cos(\theta x) dx$ を求めよ。

(2) $f(x)$ が極値をとる x を a と表すとき、極値 $f(a)$ を求めよ。

ただし、 $f(0) = 1$ が極値の 1 つであることを証明なしに使ってよい。

(3) $t > 0$ とし、関数 $F(t) = \int_0^\infty e^{-tx} f(x) dx$ の導関数 $\frac{dF(t)}{dt}$ を $F'(t)$ と表す。

(a) $F'(t)$ を部分積分を用いて求めよ。ただし $\lim_{x \rightarrow \infty} e^{-tx} \sin x = \lim_{x \rightarrow \infty} e^{-tx} \cos x = 0$ を用いて良い。

(b) (a) の結果を用いて、定積分 $I(t) = \int_0^t F'(s) ds = -\arctan t$ を示せ。

(c) $\lim_{t \rightarrow \infty} I(t) = \lim_{t \rightarrow \infty} (F(t) - F(0))$ であることを利用して、 $F(0)$ を求めよ。ただし $\lim_{t \rightarrow \infty} F(t) = 0$ を利用してよい。

[問3] (応用数学)

変数 y は変数 x の実数関数とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 微分方程式 $y'' + 3y' + 2y = 0$ の一般解を求めよ。
- (2) 微分方程式 $y'' + 3y' + 2y = \sin x$ の一般解を求めよ。なお、この微分方程式の特殊解が $y = a \cos x + b \sin x$ (a, b は定数) と書けることを用いてもよい。
- (3) 微分方程式 $y'' + 3y' + 2y = e^{-3x}$ の一般解を求めよ。必要ならば定数変化法を用いてもよい。